



令和6年10月23日
日本下水道事業団

下水道BIM/CIMライブラリの充実に向けて
～下水道BIM/CIMオブジェクトデータ標準の策定～

日本下水道事業団（JS）では、下水道BIM/CIMオブジェクト標準を公表しています。今回、その内容を補完する「下水道BIM/CIMオブジェクトデータ標準（第1版）」を新たに策定しました。

また、JSの下水道BIM/CIMライブラリの構想に共感いただいた3次元CADソフトウェア「Rebro」において、下水道で使用される大口径ダクタイル管（K形）のオブジェクトが実装されました。

現在市販されているBIM/CIMソフトウェアには、下水道施設特有の機器や配管材等の部材モデル（オブジェクト）が実装されておらず、下水道施設設計で使用する際には使用者による個別のオブジェクト作成が必要で、多くの時間を要していました。そのためJSでは、オブジェクトの基本事項を取りまとめ、オブジェクト作成時の作業効率を向上させる「下水道BIM/CIMオブジェクト標準」を令和6年4月に公表しました。

今回、その内容を補完するため、オブジェクトの運用に必要な属性情報の項目を取りまとめ、「下水道BIM/CIMオブジェクトデータ標準（第1版）」を新たに策定しました。なお、「下水道BIM/CIMオブジェクトデータ標準（第1版）」は、JSホームページの「建設DXの取組」で公表します。

また、下水道BIM/CIMライブラリの構想に共感いただいた建築設備に強みを持つ3次元CADソフトウェア「Rebro」（株式会社NYKシステムズ）において、下水道施設で広く使用されている大口径ダクタイル管（K形）400～1500mmのオブジェクトが実装されました。下水道施設特有の部材が3次元CADソフトウェアに実装されることで、下水道施設設計における3次元モデル構築が効率化され、下水道事業においてBIM/CIMの活用が拡大していくことが期待されます。

JSでは、今後も下水道で使用する部材のモデル化に必要な形状や属性情報の取りまとめを進め、下水道関係者が共有できる「下水道BIM/CIMライブラリ」を構築することにより、下水道プラットフォームとしてBIM/CIM活用を推進していきます。

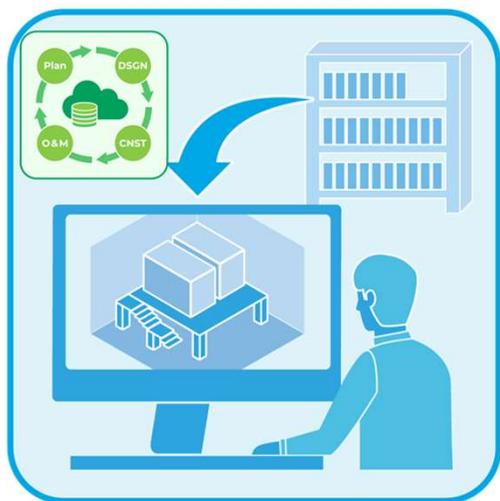
<問い合わせ先>

日本下水道事業団 DX 戦略部 富樫部長

建設DX課 及川課長

TEL：03-6892-2019 E-mail：Oikawa@jswa.go.jp

下水道BIM/CIMライブラリの概要



下水道 BIM/CIM オブジェクトデータ標準

第1版 令和6年10月

日本下水道事業団DX戦略部

下水道BIM/CIMオブジェクトの構成

- ・形状情報
- ・外観、写真

- ・属性情報

下水道BIM/CIM
オブジェクト標準

今回策定

下水道BIM/CIM
オブジェクトデータ標準

BIM/CIMオブジェクト
の集積

下水道BIM/CIMライブラリ
(準備中)

ライブラリの充実により下水道の設計・施工業務の生産性が向上し、
下水道分野の発展に寄与することを期待